

4. 六ヶ所再処理工場操業停止により派生するコスト

— 海外返還廃棄物の受入れ困難 —

— 日本原燃株式会社



- 定性的な影響
- ・日本と英仏間の外交問題に波及
- ・返還廃棄物受入れのための新規立地点の選定は難航が予想される。
- ・建設費のほかに立地・用地取得にかかる費用が発生。

- 定量的な影響
- ・返還廃棄物受入に伴い新規受入施設の建設が必要
- ・上記に伴い、海外からの返還廃棄物等の受入れの大幅な遅延が予想されるため、海外での貯蔵費が増加する。
- ・海外からの返還輸送についても、専用の船を用意するなど、固定的な費用が発生しており、返還遅延に伴い、輸送の固定費が増加する。

12

4. 六ヶ所再処理工場操業停止により派生するコスト

— 海外返還廃棄物の受入れ困難 —

— 日本原燃株式会社



- 六ヶ所での左記施設は、再処理施設の一環として地元了解を得て、操業中又は今後操業見込み。海外から返還される高レベル放射性廃棄物(ガラス固化体)は、順次、六ヶ所サイトに搬入し一時的に貯蔵している。

- 政策変更により地元との信頼関係が崩れれば、廃棄物の受入れが拒絶され、廃棄物の行き場を失う可能性が高い。

(参考)

・高レベル放射性廃棄物(ガラス固化体)

返還済ガラス固化体 1,414本
今後返還される予定のガラス固化体 約 800本

・TRU廃棄物
今後返還される予定のTRU廃棄物 約3,600本

13